



北信広域連合圏域サイン整備事業
北信広域圏サインシステム整備マニュアル



北信広域連合

中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村

北信広域連合圏域サイン整備事業
北信広域圏サインシステム整備マニュアル



北信広域連合

中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村

経過報告

1 経緯

平成14年度「広域的に観光を推進すること」と「広域的に幹線道路網を整備すること」を目的とし、「広域的観光推進・幹線道路網整備調査研究会」発足。

市町村担当課長による、広域的観光推進調査研究会（観光部会）と広域的幹線道路網整備調査研究会（道路部会）による調査研究を始めた。

観光部会調査研究に基づき、北信圏域をひとつの観光地として捉えた場合、圏域全体を案内する看板についても検討課題としていく必要があるという方向性が出され、これを受けて、市町村担当者による作業部会として「圏域案内サイン部会」をスタートさせた。

2 サイン部会

(1) 会議等開催経緯

14年 7月 木曾広域公共サイン事業視察 9月 第1回部会 10月 第2回部会
16年 2月 第3回部会開催、以降、毎月1回の部会開催で、計15回開催し、デザインを検討。

(2) 部会構成

○部会員 北信7市町村観光担当者
○オブザーバー

長野県経営戦略局 長野県住宅部建築管理課 北信地方事務所（総務課・商工雇用課・建築課・土地改良課） 中野・飯山建設事務所（管理計画課）

○アドバイザー

「美しいまちふるさと道再生モデル事業」実施要領に基づきアドバイザー 野沢温泉村 久保田三代氏 を選定し、意匠の助言を得る。

公共サイン

公共サインの中でも特に観光客・来訪者の目安となる圏域界サイン、広域案内サイン、市町村誘導サイン、施設誘導サイン等は、観光客・来訪者が市町村行政界を意識することなく移動し目的地を目指すため、主幹線道の目付に付きやすい場所、特に道の駅等多くの人たちが立ち寄る場所に設置いたします。

そのため、このサインは視覚外観的にも景観に馴染み、地域の魅力を引き立てるデザイン、仕様であることが望まれます。

乱立する色々な形態、仕様のサイン類及び市町村独自の公共案内誘導サイン類を、北信広域圏内において、統一した意匠のもとに、来訪者が安心して確認し誘導できるサインにし、北信州の景観に調和したサイン展開を目的にしています。そしてこの統一した基本（標準）の意匠のもとに、各市町村独自の特徴が生きた、設置箇所の周辺景観に調和したサインになるようにします。

近隣自治体との連続性ある共通仕様の情報提供を行うことも大切です。

広域案内においてエリアマップ内の情報は、幹線道路を中心に観光資源及び施設・文化施設等を表示し、それらの外観写真等を添付表示することにより、写真による視覚確認の告知をし来訪者に安心感を与え、施設等に誘導することも大切な要素です。主な観光地・文化施設・公共施設までの距離、時間等のアクセスも表示し安心の目安表示をします。

サイン本体には、基本的に長野県産スギ材を利用します。北信州は日本を代表する豊かな自然に恵まれた地域であり、外来者からのイメージも「日本のふるさと・原風景」であると思われま

スギの美しい木目が活かされた案内・誘導看板は、北信州の景観文化です。豊かな自然環境に設置される広域の案内・誘導サインとして、木材がもっともふさわしい素材であり、同時に、そこで用いられる木材の保存処理においても、できるかぎり周辺環境や生態系に悪影響を及ぼさない配慮をしなければなりません。そのためこのスギの美しさが持続するよう、天然鉱物資源であるホウ酸塩による防腐・防蟻処理を行い、さらに耐候性の高いウレタン塗装で仕上げます。

サイン意匠の統一的特徴として表示面の周りを格子風に装飾し、屋根の形状は民家特有のむくり形や直線形を取り入れ、北信州の景観に合わせたよりよいイメージの定着を図ります。

またグラフィック表示面に関しては、情報の更新に合わせ差し替え・リニューアルできる仕様とします。看板構造仕様は、奇抜な形状を避け伝統的な看板形状にし、北信州の景観文化に協調した飽きのこない長期にわたり親しまれる案内看板にいたします。

新たなサイン設置計画が上がった時は設置場所において、周辺に類似・同系の誘導サインがある場合は、既存設置関係者との協議、調整にて、マニュアルの指針に基づく統一されたサインに集約し設置することを勧めます。それによる景観の美化と、サインの乱立を防ぐようにしましょう。

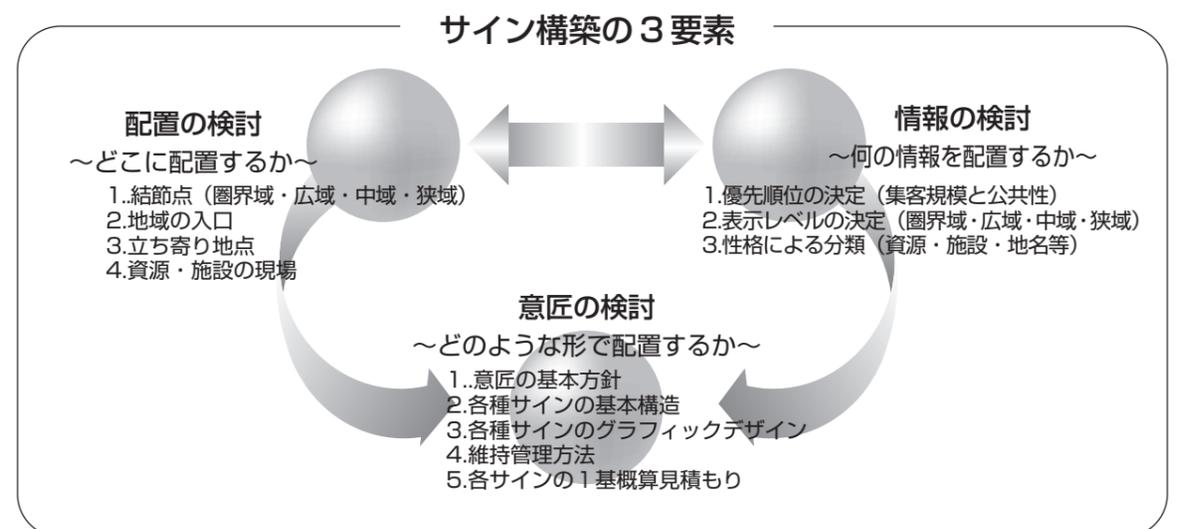
一方、公共サインは、単独では有効に機能しないと考えられます。異なる役割を持った連続性のある意匠のサインがそれぞれの場所に複数配置されることによって情報提供が充実し、公共サインとしての役割を果たすことができます。

サインはその機能によって下記のように分類されます。

- 案内サイン 対象範囲内の地域情報を総合的に表示する機能を担います。多くの場合、総合案内地図の形式をとります。
- 誘導サイン 観光客など地域に不案内な人を、目的地まで適切に誘導する機能を担います。
- 記名サイン 対象物（資源・施設）や対象地域のある現場で、その名称を表示する機能を担います。
- 説明サイン 事物（資源・施設）の内容、歴史、操作法などを解説する機能を担います。
- 規制サイン 安全や秩序を守るため、人の行動を促す機能を担います。

またサインシステムを構築する際は、「配置」、「表示情報」、「意匠」の検討をいたします。

下記の図に示すような、すなわち、「どこに」、「何を」、「どのように」ということです。



はじめに	4
サイン構築の3要素	5
1 広域サイン整備の概要	7
1.サインの構成	8
2.各サインの概要	12
3.サイン整備の手順	14
2 配置マニュアル	15
1.施設や資源の性格による分類	16
2.主要サインの配置計画	19
3.北信広域圏エリア	20
3 グラフィックマニュアル	21
1.表現の基準	22
2.表示の基本ルール	24
3.圏域界・誘導サインの表示内容と仕様	26
4 支持体設計マニュアル	27
1.圏域界サイン	28
2.広域案内サイン	30
3.市町村誘導サイン	32
4.施設誘導サイン	34
5 維持管理の指針	43
1.維持管理主体	44
2.広域案内サインの維持管理	44
3.圏域界及び各誘導サインの維持管理	45

広域サイン整備の概要

～4種類のサインについての記載～

- 1.サインの構成
- 2.各サインの概要
- 3.サイン整備の手順

1

1.サインの構成

1.圏域界サイン

<ポイント>

「圏域界サイン」は広域案内看板意匠デザインにイメージ及び仕様の統一性をもたせます。

<内 容>

- ①看板本体の意匠は、屋根付き（一文字葺き）2柱看板にします。支柱部等の主材にはスギ材を利用し、環境にやさしいホウ酸塩による防腐防蟻処理及び、木材保護着色及び耐候性ウレタン塗装のクリアー仕上げにします。
- ②表示面はチャンネル（箱文字）文字にし、重厚感をもたせます。
- ③照明をつけることも可能とします。
照明をつける場合はタイマー式スポット照明により夜間でも可視できるようにします。
スポット照明の電源は、安定した電力確保のため基本的に一般家庭用電源を使用します。
（設置場所により一般家庭用電源が取れない場合は、自然景観を重視する上でも自然エネルギーを利用したソーラーパネル・風力発電活用の検討も必要です。）

2.広域案内サイン

<ポイント>

「広域案内サイン」の意匠は、日本伝来の木造建築をイメージした屋根付き2柱看板です。
設置個所の諸条件により基礎コンクリート部分の露出または露出しない形状を選択使用します。

<内 容>

- ①信州の景観にふさわしいよう支柱部等の主材にはスギ材を利用し、環境にやさしいホウ酸塩の加圧注入により防腐防蟻処理を施した後、木目が引き立つよう木材保護着色及び耐候性ウレタン塗装のクリアー仕上げをします。
- ②屋根は雪国信濃の家屋を連想する伝統的一文字葺き屋根にし、形状はむくり型・直線型を取り入れます。
- ③表示面の周りを格子風に装飾し、景観に協調したシックで落ち着いた感のある看板デザインにします。
- ④表示面は分りやすく大きくし、できるだけ多くの情報が看板から収集できる内容にします。
情報の更新が容易にできるよう、差し替えできる仕様とします。
表示面はアルミ複合板にCG出力紙（ビューカラー）の貼り加工にし、更新時の差し替えを可能にします。

3.市町村誘導サイン

<ポイント>

「市町村誘導サイン」は圏域界・広域案内看板意匠デザインにイメージ及び仕様の統一性をもたせます。

<内 容>

- ①看板本体の意匠は、2柱看板にします。支柱部等の主材にはスギ材を利用し、環境にやさしいホウ酸塩による防腐防蟻処理及び、木材保護着色及び耐候性ウレタン塗装のクリアー仕上げにします。
- ②表示面の周りを格子風に装飾し、景観に協調したシックで落ち着いた感のある看板デザインにします。
- ③表示面はアルミ複合板にフィルム切り文字貼り加工にし、更新時の差し替えを可能にします。
- ④表示内容は、矢印ピクト、市町村名・英文字併記等を表記します。

4.施設誘導サイン

<ポイント>

「施設誘導サイン」は圏域界・広域案内看板意匠デザインにイメージ及び仕様の統一性をもたせます。サイズは大型・小型・矢羽型・パネル持出型があります。

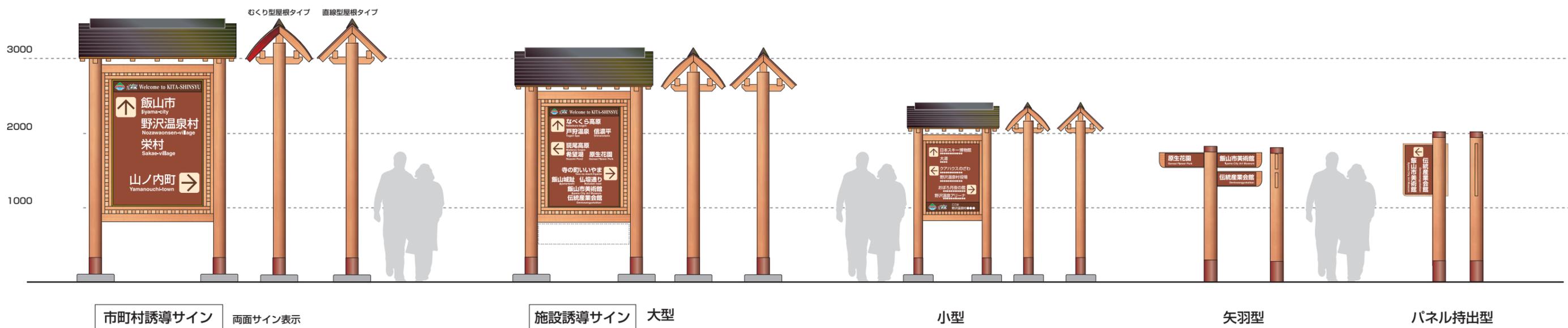
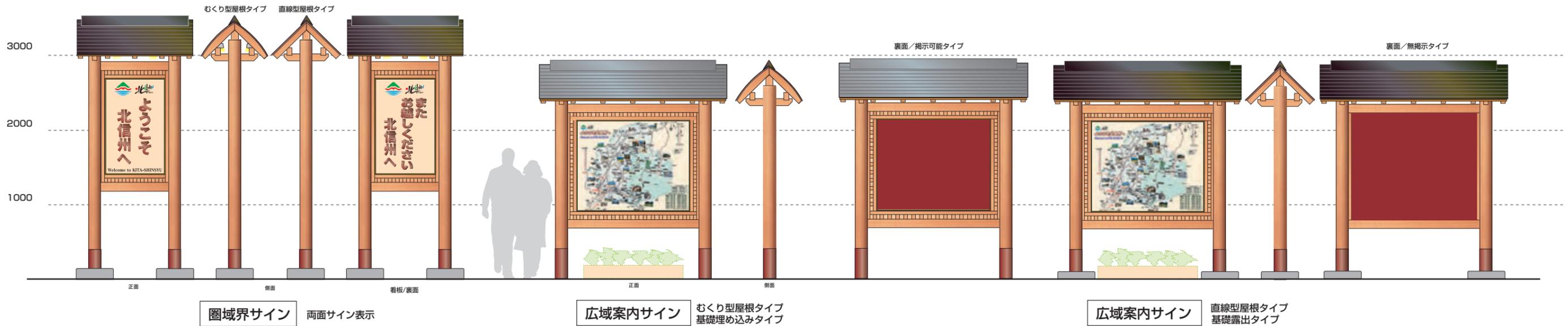
<内 容>

- ①小型サイン及び矢羽・パネル持出型サインは、歩行者の安全面から歩道等では歩行範囲外の設置場所の選定が要検討となります。
- ②看板本体の意匠は、2柱看板にします。支柱部等の主材にはスギ材を利用し、環境にやさしいホウ酸塩による防腐防蟻処理及び、木材保護着色および耐候性ウレタン塗装のクリアー仕上げにします。
- ③大型・小型看板は、表示面の周りを格子風に装飾し、景観に協調したシックで落ち着いた感のある看板デザインにします。
- ④表示面はアルミ複合板にフィルム切り文字貼り加工にし、更新時の差し替えを可能にします。
- ⑤表示内容は、矢印ピクト、施設資源名・英文字併記等を表記します。

◎印は主な機能 ○印は必要に応じて対応できる機能

	案内機能	誘導機能	記名機能	説明機能
北信広域圏サインシステム	圏域界サイン 両面サイン表示	むくり型屋根タイプ 直線型屋根タイプ	◎	
	広域案内サイン 裏面掲示可能タイプ	むくり型屋根タイプ 直線型屋根タイプ 基礎埋め込みまたは基礎露出タイプ	◎	◎
	市町村誘導サイン 両面サイン表示	むくり型屋根タイプ 直線型屋根タイプ	○	◎
	施設誘導サイン 両面サイン表示	大型・小型 矢羽型 パネル持出型 基礎埋め込みまたは基礎露出タイプ	○	◎

北信広域圏サインシステム一覧



2.各サインの概要

圏域界サイン 両面サイン表示

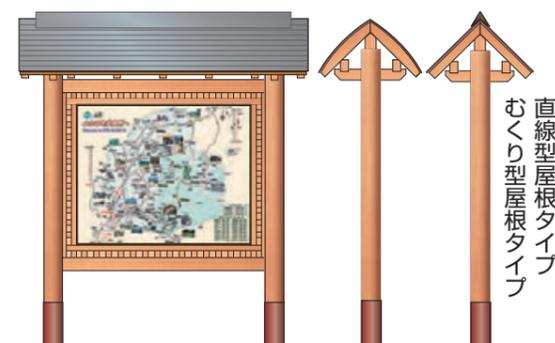


直線型屋根タイプ
むくり型屋根タイプ

サインは、設置場所の周辺建物・風景等の景観に調和させることが大切です。
北信州のサインは、屋根付サインを基調とし、設置場所景観に合せ屋根のカラー、屋根の形状、屋根サイズを検討することを勧めます。屋根形状はむくり型又は直線型を基本形体とし、現場協議にて選択採用しましょう。
市町村の周辺景観等のイメージに合わせアレンジを可能にし、より良い景観づくりに努めます。またサイン本体は、スギ材をサインの統一材として利用します。

- 看板本体の意匠は、屋根付き（一文字葺き）2柱看板にします。スギ材を利用し、ホウ酸塩による防腐防蟻処理及び、木材保護着色塗装及び耐候性ウレタン塗装のクリヤー仕上げにします。

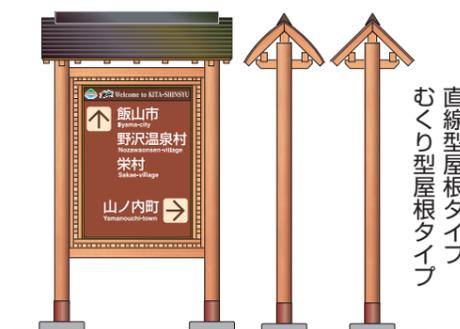
広域案内サイン 裏面／掲示可能タイプまたは無表示タイプ



直線型屋根タイプ
むくり型屋根タイプ

- 人の往来の多い場所に設置の場合は基礎コンクリート部分の露出を無くし、歩行者のスムーズな動きと周辺景観に調和させます。
- 設置場所により、基礎コンクリート部分の露出するタイプまたは露出しないタイプの選択をします。
- 広域案内サインの看板下（基礎部分周り）は、植栽・花壇・プランター栽培などを施し、周辺の景観に合わせ、看板の設置景観を良くします。

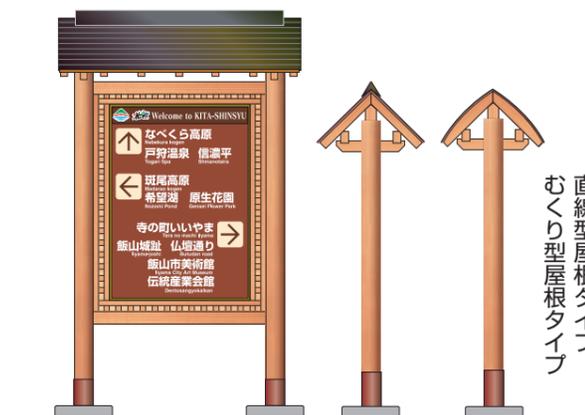
市町村誘導サイン 両面サイン表示



直線型屋根タイプ
むくり型屋根タイプ

- 市町村誘導サインの基礎コンクリート露出部分については、高さ100mmを基本とし、設置場所等の諸条件による基礎コンクリート部分の高低可変を可能とします。

施設誘導サイン (大型・小型) 両面サイン表示



直線型屋根タイプ
むくり型屋根タイプ

- 施設誘導サインの基礎コンクリート露出部分については、高さ100mmを基本とし、設置場所等の諸条件により基礎コンクリート部分を埋め込む（露出しない）など高低可変を可能とします。

施設誘導サイン (矢羽型) 両面サイン表示



- 施設誘導サイン（矢羽型及びパネル持出型）は、基本として基礎コンクリートは露出せず、埋め込みタイプにします。

植栽内、土壌内等、設置場所の諸条件によりコンクリートの露出が必要な場合は、その高低も検討の上、可能とします。

- 小型1本柱サインは、歩行者の安全面から歩道以外では歩行範囲外の設置場所を選定します。

- 表示面の枚数・方向は設置場所ごとに検討します。

- 本柱高さは設置場所ごとに調整、検討します。

施設誘導サイン (パネル持出型)



3.サイン整備の手順

サインの整備は、下記の手順にしています。



配置マニュアル ～各サインの配置計画～

2

- 1.施設や資源の性格による分類
- 2.主要サインの配置計画
- 3.北信広域圏エリア

1.施設や資源の性格による分類

北信広域管内の施設をその種類により分類し表示優先度を観光的な施設を中心とし、公共性の高さ
と利用客数の高さを勘案し基準とします。

(1) 施設及び資源の分類

資源の種類	資源名					
	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	栄村
スキー場	牧の入スノーパーク 斑尾高原豊田	斑尾高原、斑尾サンパティック、 戸狩温泉、北竜湖ファミリー	志賀高原、北志賀高原 上林スノーボードパーク ごりん高原	木島平	野沢温泉	さかえ倶楽部
温泉	間山温泉 長峰温泉 まだらおの湯 もみじ荘	戸狩温泉（暁・望の湯） いいやま湯滝温泉 斑尾高原温泉 いいやま北竜温泉 七福の湯	発哺、熊の湯、丸池、志賀山、 暮岩、木戸池、ほたる、湯田中 星川、新湯田中、穂波、安代、 渋、上林、地獄谷、角間、よませ、 竜王	馬曲、池の平、木島平	野沢温泉	中条、北野天満、秋山郷（切明、 和山、上野原、屋敷、小赤沢、百 合居）
公園	一本木公園 東山公園 ふるさとの森文化公園	菜の花公園 長峰スポーツ公園 フラワーロード		やまびこの丘公園 ケヤキの森公園		
自然	高社山 斑尾山	なべくら高原、鍋倉山、斑尾山、 黒岩山	東館山高山植物園、志賀高原	高社山、カヤの平高原	上ノ平高原、毛無山	苗場山 鳥甲山 佐武流山 野々海高原
観光的施設	中山晋平記念館 日本人形資料館 中野陣屋・県庁記念館 信州中野銅版画ミュージアム 歴史民族資料館 高野辰之記念館	飯山伝統産業会館 飯山市美術館 飯山手すき和紙体験工房 北竜湖資料館 斑尾高原絵本美術館 小山オサム美術館	民族資料館豪雪の館 志賀山文庫、猪谷記念館 志賀高原ロマン美術館 林芙美子文学館 酒蔵美術館玉村本店 一茶・井泉水記念資料館 長野オリ・パラ記念館		日本スキー博物館 おぼろ月夜の館「鳩山文庫」	秋山郷民族資料館 民族資料室 秋山郷総合センタ「とねんぼ」
寺社仏閣	無相大師祖堂（霊閑寺）	小菅神社、寺町、正受庵			健命寺、湯沢神社	常慶院、北野天満宮
史跡・碑等	高梨館跡公園	飯山城址、万仏石像、大聖院跡		根塚遺跡	岡ノ峰遺跡	阿部家住宅 秋山郷保存民家
観光案内所	信州中野観光センター	飯山駅観光案内処 桜広場交流施設 花の駅「千曲川」		木島平村観光交流センター	物産センターねんりん	
道の駅	ふるさと豊田		北信州やまのうち			物産館またたび
湖沼	浜津ヶ池	希望湖 北竜湖 茶屋池 桂池	四十八池ほか		北竜湖 スタカ湖	
季節の花木	ばら（一本木公園） 桜（東山公園）	菜の花（菜の花公園） ブナ林（なべくら高原） 水芭蕉（斑尾高原）	ニッコウキスゲ、水芭蕉 ほか高山植物（北・志賀高原）	ニッコウキスゲ（カヤの平） ブナ林（カヤの平） 福寿草	ブナ林（上ノ平） つつじ（つつじ山公園）	カタクリ ニッコウキスゲ
キャンプ場	体験交流施設まだらおの湯	片山公園	木戸池、笠岳	カヤの平	スタカ湖	のよさの里、栃川、野々海高原
景勝地		福島棚田 阿弥陀堂				屏風山（秋山郷）
その他地域を代表する個別部門	十三崖チョウゲンボウ ぶどう、りんご	内山和紙、飯山仏壇、森の家、 神戸大イチョウ、富倉そば、笹 すし、アスパラガス	温泉街、りんご	内山和紙、龍興寺清水	麻釜、温泉街、野沢菜	内山和紙、猫つぐら

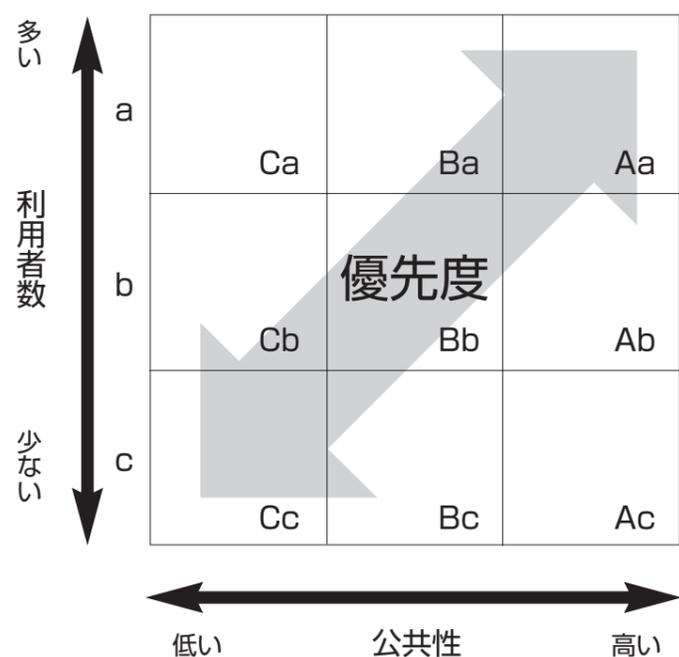
(2) 施設情報の表示優先度

<基準：公共性の高さを利用客数の多さを優先度の基準としてサインへの情報として表示します>

- 役場、鉄道駅、病院、警察等は、公共性が高い施設であるが観光的要素は低いいため、優先度は低い施設とします。
- 地域にとって重要な観光要素であるスキー場・温泉施設は、民間施設も多いが、北信地域のイメージを形成する要素であるので、優先順位は高いとします。
- 民間の観光施設、宿泊施設等は、優先度は低いと考えます。
- 利用客数が少ない施設であっても、地域イメージを形成するものは、優先度は高いとします。
- シーズンが限定される施設については、利用客数及び公共性が高いものを優先します。

以上のような評価基準により、資源・施設を図のようにAa～Ccまでの9種類に分類します。優先度はAaが最も高く、次いでAb・Ba、中間がAc・Bb・CaさらにBc・Cbと続き最も低いのがCcとなります。

北信広域においては、各市町村において、表示したい資源施設を評価基準に照合し、分類します。そして表記内容の優先度を検討しサイン表示するようにします。



2. 主要サインの配置計画

- ・ 新たなサイン配置計画が上がった時は、希望設置場所をよく調査し、各市町村及び設置場所関係者と協議を行い、看板の集合・統一化を目指し、将来的に民間等と協力し、より良い景観づくりに努めます。またマニュアルの指針に基づき、統一されたサイン意匠にします。併せて既存の周辺の類似・同系の誘導サインを整理し必要箇所の整備を行います。
- ・ 北陸新幹線建設に伴う用地買収予定地区等、県や建設省、各市町村建設課と建設予定地の検討を十分に行います。

(1) 圏域界サインの配置計画

- ・ 圏域界サインは北信州全体の範囲で表示します。
- ・ 設置候補地は、信州中野ICなど、北信広域連合圏の圏外からの主要幹線道路を中心とした入口箇所を予定します。

(2) 広域案内サインの配置計画

- ・ 広域案内サインは北信広域連合圏を表示範囲とします。
- ・ 設置候補地は、信州中野観光センター地点、湯田中渋温泉郷へ入るバイパス沿い地点及び飯山市街バイパス沿い地点など、各市町村の観光資源・観光施設に向け、観光客が多く目にすると思われるスポット地点を予定します。
- ・ 表示内容は各市町村の観光施設や高原、湖、トレッキングコース、スキー場、キャンプ場などを中心に、その観光資源までのアクセス道路やJR、長野電鉄線を表示するため、観光的要素の低い役場、警察署、郵便局等の公共施設は最小限の表示を予定します。

(3) 市町村誘導サインの配置計画

- ・ 市町村誘導サインは各市町村の観光資源の入口分岐点となる交通量の多い交差点もしくは交差点手前に大きく表示します。
- ・ 設置するサインは日本語のほか英文表記も併用し、手前のみならず遠方からもわかりやすいように矢印を大きく表記します。
- ・ 看板には統一して北信州のロゴマーク及びWelcome to KITA-SHINSYUを表記します。

(4) 施設誘導サインの配置計画

- ・ 施設誘導サインは市町村誘導サインタイプ（大型・小型）と1柱丸太型タイプ（矢羽型・パネル持出し型）の2種を予定します。
- ・ 誘導サインタイプは観光資源への分岐点となる主要道路を設置予定とします。
- ・ 1柱丸太型（矢羽型・パネル持出し型）タイプは歩道及び歩行者の目線にたった高さとし大きさを設定します。また表示面の枚数・方向は設置場所ごとに検討します。
- ・ 1柱丸太型（矢羽型・パネル持出し型）タイプのサインは、歩行者の安全面から歩道沿いでは、歩行範囲外の設置場所を選定します。